

久保田 信¹・大和茂之¹：和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へのフジツボ類（甲殻類，蔓脚類）の“脱皮殻”の大量漂着

Shin KUBOTA¹ and Shigeyuki YAMATO¹ : Records of the mass drifts of “molted exuviae” of barnacles (Crustacea, Cirripedia) at the “Kitahama” beach in front of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama Town, Wakayama, Japan

和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”で、過去20年余り毎日の様に漂着物調査を実施しているが、一年の内ではほぼ決まった時期になると大型フジツボ類の脱皮殻と推察されるものが大量に漂着する。2004年にこの事象に初めて気づいて以降、このような漂着に留意してきたが、今回、2014年末までの過去11年間の大量漂着の記録をまとめたので報告する。このような季節性を示す漂着例として当該調査区域では、魚類の異例の凍死は別として（久保田ほか 2011）、ハシボソミズナギドリ（久保田 2006）やアラハダカ（久保田 2014）などで知られる。

2004年から2014年までの11年間の内の7年で、秋季にフジツボ類の“脱皮殻”の大量漂着（図1，2）が確認された（表1）。これらは、クチクラ部分だけが残る、脱皮殻と推察されるが、個体の死亡後に、肉部が抜けたものの可能性もある。個体のサイズは、大きいものが目立つが、小型のものも含まれている。この11年の内で2009年の漂着だけは他の年と比較してそれほど数は多くはなかった。一年に1回の漂着の事例が多かったが、2004年と2014年には3回の大量漂着があり、いずれも2回目の大量漂着は1回目の約半月後に起きている（表1）。

これらの“脱皮殻”はほとんど収集していないが、最近収集した殻の一部については、蔓脚の形態から見て複数種のものが含まれていた。漂着現場付近の岩礁にはクロフジツボ類が多数生息している（久保田 2014）が、今回収集した殻にはクロフジツボと推定されるものも含まれるが、他の大部分のものは漂着現場以外から流れ着いた可能性もある。田

表1 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へのフジツボ類“脱皮殻”の11年間での大量漂着の年月日

1回目 1st	2回目 2nd	3回目 3rd
2004年 11月13日 Nov. 13	12月2日 Dec. 2	12月14日 Dec. 14
2005年 11月21日 Nov. 21	—	—
2007年 11月17日 Nov. 17	—	—
2009年 12月27日* Nov. 27*	—	—
2011年 12月15日 Dec. 15	—	—
2013年 11月22日 Nov. 22	—	—
2014年 10月28日 Oct. 28	11月15日 Nov. 15	11月21日 Nov. 21

*：数少ない“脱皮殻”の漂着 Not so many “molted exuviae” stranded
—：記録なし No records



図1 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に大量に漂着したフジツボ類の“脱皮殻”（2004年11月13日撮影）。

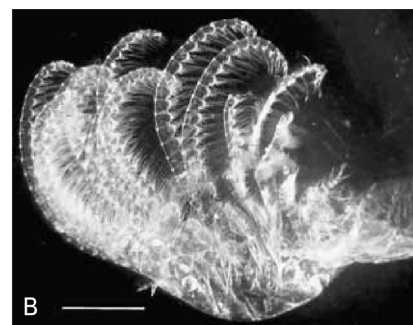
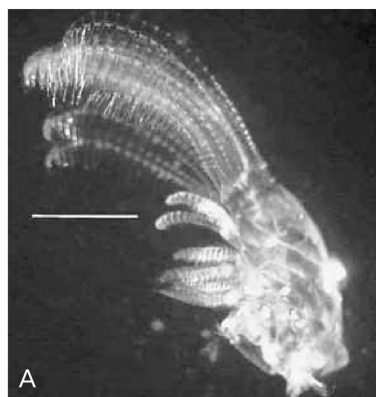


図2 A, B. 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に2014年11月21日に大量に漂着したフジツボ類の2種の“脱皮殻”。A, クロフジツボと思われるもの。B, 未同定のもの。スケールは5 mm。

辺湾内に多数浮かぶ養殖筏などにはアカフジツボなどの大型のフジツボなども付着しており，そのようなものに由来することも考えられる．漂着の季節性については，フジツボ類の繁殖や死亡などの生物学的特性だけでなく，漁業活動の季節性も考えなければならないかも知れない．潮目などによって脱皮殻などが選択的にトラップされ，海岸にまとまって漂着したものと推察される．

引用文献

- 久保田 信. 2006. 和歌山県田辺湾とその周辺海域へのハシボソミズナギドリ（ミズナギドリ科）の漂着．漂着物学会誌，**4**：43-44.
- 久保田 信・田名瀬英朋・武藤望生・東海林 明・木村一品・中坊徹次. 2011. 和歌山県田辺湾における2011年冬季の異例の数の凍死魚の漂着．漂着物学会誌，**9**：13-16.
- 久保田 信. 2014. 和歌山県白浜町に打ち上げられたクロフジツボ類（甲殻類，クロフジツボ科）の殻．日本生物地理学会会報，**69**：203-205.
- 久保田 信. 2014. アラハダカ（魚類，ハダカイワシ科）の和歌山県白浜町沿岸における漂着記録．京都大学瀬戸臨海実験所年報，**27**：46.

(Received Sept. 5, 2015; accepted Oct. 22, 2015)

¹ 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

¹ Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Shirahama Town 459, Nishimuro, Wakayama Prefecture 649-2211, Japan